

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第1区分

【発行日】令和4年12月23日(2022.12.23)

【国際公開番号】WO2021/149239

【出願番号】特願2021-572232(P2021-572232)

【国際特許分類】

B 0 4 B 1/08(2006.01)

B 0 4 B 7/14(2006.01)

【F I】

B 0 4 B 1/08

B 0 4 B 7/14

10

【手続補正書】

【提出日】令和4年12月15日(2022.12.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項1】

回転容器と、前記回転容器の内部に、積層方向に所定の間隔を空けて積層された複数の円錐台形状を有する分離板とを有し、被処理流体に含まれる比重が異なる成分を遠心力により分離する遠心分離機であって、

前記分離板の表面に、積層された他の分離板との間に、前記所定の間隔を保つ円錐面の母線に沿った短冊状の間隙片が複数設けられ、

前記複数の間隙片が、前記分離板の表面の周方向に、所定の間隔を開けて設けられ、

前記複数の分離板が積層された状態で、前記間隙片の間の領域で、且つ前記領域における前記分離板の表面及び前記他の分離板の裏面に、所定のパターンの凸部及び凹部が形成され、

30

前記所定のパターンは、分離板の円錐面の母線に沿った線分状に形成されていることを特徴とする遠心分離機。

【請求項2】

回転容器と、前記回転容器の内部に、積層方向に所定の間隔を空けて積層された複数の円錐台形状を有する分離板とを有し、被処理流体に含まれる比重が異なる成分を遠心力により分離する遠心分離機であって、

前記分離板の表面に、積層された他の分離板との間に、前記所定の間隔を保つ円錐面の母線に沿った短冊状の間隙片が複数設けられ、

前記複数の間隙片が、前記分離板の表面の周方向に、所定の間隔を開けて設けられ、

前記複数の分離板が積層された状態で、前記間隙片の間の領域で、且つ前記領域における前記分離板の表面及び前記他の分離板の裏面に、所定のパターンの凸部及び凹部が形成され、

40

前記所定のパターンは、分離板の円錐面の母線に交差する方向の線分に接する曲線状に形成されていることを特徴とする遠心分離機。

【請求項3】

前記凸部及び凹部は、前記円錐台形状の底部側よりも頂部側の方が、密度が小さく形成されていることを特徴とする請求項1又は2記載の遠心分離機。

50